

コ デ ィ ネ タ

育英館大学副学長・教授

佐賀 孝博（さが たかひろ）氏



枝幸町出身。稚内北星学園短期大学修了。1989年より稚内北星短期大学副手、助手、専任講師、助教授。2000年より4年制大学へ改組転換された稚内北星学園大学情報メディア学部専任講師、助教授、准教授を経て、2009年より教授に就任。2022年より育英館大学に名称変更後も、情報メディア学部情報メディア学科教授として活躍。

現在、副学長・キャリア支援室長を兼任。宗谷管内では稚内市教育委員会委員、北海道枝幸高等学校学校運営協議会委員、北海道稚内高等学校学校評議委員などを務める。専攻分野は情報科学。研究課題は「コンピュータの教育への活用」。

P a n e l i s t

五十音順

シンガーソングライター・稚内観光大使

エビナ マスジ（えびな ますじ）氏



えびなイベントホールHP

稚内市出身。2001年に稚内出身の兄弟ユニット『SE-NO』（セーノ）を弟 蝦名摩守俊氏と共に結成。北海道を中心に精力的に活動し数々のCMタイアップやNHKニュース番組のエンディングテーマなどを担当。稚内市内の学校に積極的にライブを届け、4校に第二校歌を制作する。2015年から『エビナマスジ』としてソロ活動を開始。中西圭三氏がコーラスとして参加したデビューアルバム『UPSTAIRS』を皮切りに、これまでCDを10枚リリース。2024年には自身3枚目のフルアルバム『Gradation』をリリースした。実家の電器店を音楽ホールに改装した「えびなイベントホール」の運営・企画を担当。昨年で10周年を迎え『笑顔が生まれる場所』を届け続けている。

ボラリス・ネイチャーガイズ&コンサルタンツ 代表・自然ガイド

嶋崎 暁啓（しまざき としひろ）氏



滝川市生まれ、神奈川県育ち。大学時代に訪れたサロベツの雄大な自然と地域の温かい人々に魅了され、卒業後に移住。サロベツの自然系NPO法人の事務局長としてサロベツ湿原センターの開館や運営に携わり、2022年に独立。

現在は豊富町を拠点に、地域の自然に精通したガイド歴15年以上のプロ・ネイチャーガイドとして活躍。子供達への環境教育や動植物調査にも長年携わり、幅広い専門知識、経験を持つ。現在、豊富町社会教育委員等も務める。専門は「ヒグマの生態」。

芳野牧場・NPO法人 ミナといかん 代表理事

芳野 福一（よしの ふくいち）氏



ミナといかん HP

幌延町問寒別地区で乳牛240頭を飼育する酪農家。牛舎内では乳牛が自由に動き回り自由に寝る「フリーバン方式」を採用し、牛の健康を優先した安全・安心の生乳の生産に尽力。酪農業の傍ら、自身が暮らす問寒別地区300名の集落の持続可能な地域集落を目指すため、2019年から足掛け5年をかけ、2024年4月に「NPO法人 ミナといかん」を設立。代表理事として方策の柱となる「公共私の連携」の実現に向け、地域デマンド交通、住宅の草刈りや除雪、公共施設の維持管理、地域行事支援などの地域活動のリーダーとして活躍する。

枝幸町三笠山展望閣管理人

鷺見 道子（わしみ みちこ）氏



新潟県出身。枝幸町市街地からほど近い、標高172mの三笠山山頂にある「三笠山展望閣」でカフェラウンジを営む管理人。「北越の小京都」と言われる新潟県加茂市にて生まれ育ち、20代の頃に計6回にわたる海外ホームステイや短期留学を経験。結婚後の2002年に枝幸町へ移住。2006年より展望閣2階のカフェラウンジ管理人として、同地を訪れる観光客へのもてなし以外に、17年前からハンドメイドフリーマーケットを開催するなど、地域の子連れママ友さん達が集う憩いの空間として通称「えさしのお山」のカフェを地域に定着させた。現在、枝幸町社会教育委員長等も務める。